



いきいき

1月号 NO.2

平成24年 1月20日

文責 校長 中村 敏智

NO・16

巡回指導並びに交通立番ありがとうございました

冬休み中、父親委員、生活・保体委員さんによるモラージュ巡回指導並びに保護者の方々、ボランティアの方々、老人クラブの方々による交通立番を実施していただきありがとうございました。お陰さまで、子どもたちは事件・交通事故等に巻き込まれることなく元気に登校しています。子どもたちの登校の様子を見られて気になる点があれば、いつでも学校にご連絡ください。

1日の計は、朝にあり

「1年の計は、元旦にあり。3学期の計は、始業式にあり。1日の計は、朝にあり。」という事を始業式で子どもたちに話しました。

3学期が始まり、登校の様子を見てみると、はたして1日の計が朝にあるのか?と思える子どももいます。登校時刻は、8時15分です。ほとんどの子どもは、8時5分~10分には登校完了していますが、15分までに間に合わない子が数名います。あと10分早く起きて、食事を済ませれば間に合うのに!!と書いてしまいます。

朝をスムーズに起きるためには、前日の就寝時刻が大きく影響すると思います。「寝る子は育つ。また、十分な睡眠をとり、しっかり朝食をとる子は、学力も高い」というデータもあります。今一度、ご家庭でも起床から就寝までの生活のリズムをご確認ください。

1月のめあて

心をこめて、あいさつをしよう

あいての目を見て

あいてよりさきに

あいじょうをこめて

★ビートたけしさんの言葉

人を気持ちよくさせる方法ってたくさんあるけど、挨拶ってその中の一つだよな。

インターネットで次のような文章を見つけました。

「たかが挨拶、されど挨拶」ですね。挨拶の大切さをわかっている人は少なくありません。でも、「わかる」と「できる」は違うのです。きちんとした挨拶ができない日本人が意外と多いのは残念です。挨拶を馬鹿にするような人は、まず人に好かれません。

挨拶の語源は、仏教語の「一挨拶(いちあいいちさつ)」にあると言われていています。「挨拶」という文字には、「押し開く」や「互いに近づく」という意味があり、「拶」には、「せまる」、「すり寄る」といった意味があります。つまり、人と人が出会い、お互いに心を開いて相手にせまっていくことが「挨拶」です。

私達大人がしっかり手本を示して、挨拶が進んで出来る 子どもに育てていきましょう!!!

2月の行事予定

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1日 (水) フッ素洗口 | 14日 (火) ALT来校 |
| 2日 (木) やまびこタイム・ようこそ先輩
(6年生) | 15日 (水) フッ素洗口 |
| 3日 (金) 新入児保護者説明会
14:00~16:00 | 16日 (木) やまびこタイム |
| 5日 (日) 巨勢公園ラジオ体操会 7:30
PTA廃品回収 8:00~11:00
※雨天延期 2/12 (日) | 17日 (金) 授業参観・PTA講演会
6年学年PTA |
| 7日 (火) 巨勢っ子会議 | 21日 (火) 北山東部小学校との交流会 |
| 8日 (水) フッ素洗口 | 23日 (木) フッ素洗口 |
| 10日 (金) スクールカウンセラー来校
13:30~17:30 | 28日 (火) ALT来校 |
| | 29日 (水) フッ素洗口 |

大先輩！古賀常次郎さんから 巨勢小学校にお手紙が届きました！！

大先輩である古賀常次郎さんには、「五つの誓い」・「どがんね」の2冊の本寄贈や毎年、巨勢小学校に多額の寄付をして頂いております。昨年10月には「どがんね 古賀常次郎詳伝」を題材として、5年生で道德の授業を行いました。巨勢小学校への思いや子どもたちへの温かなメッセージも書かれています。お手紙の一部を紹介します。

佐賀市立巨勢小学校 中村敏智校長先生

昇龍興年

旧年中ご厚誼にこころよりお礼申し上げます。

本年皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

逞しく天に昇る龍のように、力強く新年の一步を踏み出しましょう。

(中略)

日本人の美意識である「忍耐と我慢」を今こそ取り戻すとともに、忘れないようにしなければならぬと考えます。

これからの時代を創る子どもたちを応援していきたいとの思いでいっぱいでありませう。

「give back」という英語の言葉があります。

私は母校である巨勢小学校にとっても誇りを持っています。今の自分があるのは、その当時遊んだり、勉強したりした「経験」とそのときの「仲間」がいるからです。母校は、出港した船が戻ってくる母なる港（母港）に似て、私も今は亡き最愛の母と重ね合わせて思い出しますし、母に助けられてきた事実があるからです。

「give back」、日本語で言えば「恩返し」ということになるでしょう。

昨年10月、「どがんね 古賀常次郎詳伝」の中に書かれている私を題材にした道德の授業が行われましたが、子どもたち一人一人が熱心に書いてくれた感想文をじっくり読ませていただきました。疲労や空腹に耐え1日も休まずに通学し続けたことへの思いや、目標を掲げそれを達成するために自分ができるところまで頑張ったことへの思いや、大人たちとの闘いの中で、出会いと絆を大切に、一流の人々から多くのことを学び取ってきました。「忍耐と努力」を通して獲得した実行力と信頼が自信となってきました。このようにして確立した信条を愚直に守り続け、他人様にも披露してきました。「五つの誓い」と「どがんね」の2冊の本に書いたことは、未来を担う子どもたちへのメッセージでもあります。

このような私の気持ちを、皆さんは真摯に受け止めてくれて、授業の中でも扱っていただいたことに、この上ない喜びを感じております。ありがたいことです。

巨勢小学校で学ぶよい子たちは、どうか堂々と母校に誇りを持ってください。そのために、未来の自分が誇れるような、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

夢や目標を持ったなら、実現するための努力をしてください。努力を継続するには、情熱が必要です。情熱を持つためには、夢や目標を持つことがとても大切です。そして、仲間を大事にしてください。

校長先生からも、子どもたちによろしくお伝えください。

平成24年 1月吉日

株式会社
取締役社長

古賀商事
古賀常次郎



古賀常次郎さんからの温かいお手紙を頂き、巨勢っ子のために職員一同、今以上の情熱を持ち、教育に携わる決意を新たにしました。巨勢小学校OBの方々、地域の方々、保護者の皆様のご協力に感謝しながら頑張る所存です。

